

## サポート情報

## 助成金活用事例のご紹介

厚生労働省の助成金※を活用した事例をご紹介します。

生産性の向上、労働時間の削減や、賃金の引上げにつながるためのヒントとしてお役立てください。

※「働き方改革推進支援助成金」・「業務改善助成金」とは  
生産性を高めながら労働時間の削減や、事業場内で最も低い賃金の引上げ等に取り組む中小企業事業者等を対象に助成するもの

[助成金案内はこちら](#)

**参考事例** チューブの印字プリンターの更新による制御盤製作作業等の効率化

**参考事例** ホットスタンプ機の導入による時間外労働の短縮

**助成金案内 URL** <https://hatarakikatatakaikaku.mhlw.go.jp/subsidy.html>

事例

### 3 チューブの印字プリンターの更新による制御盤製作作業等の効率化



企業概要 [所在地] 富山県 [従業員] 16人 [事業内容] 電気機械器具製造業

背景

#### 印字のかすれによる作業効率の悪化



課題

文字や番号を印字して配線に被せるマークチューブの利用にあたり、従来使っていた印字用のプリンターでは字が読み取りづらく、配線の判別に時間がかかっていた。このため、制御盤への配線取り付けや動作テスト等の作業にも時間を要していた。



必要としていた対応

新しいプリンターを導入して作業の効率化を必要としていた。

取組の内容と成果

#### 新型機の導入によって作業時間を短縮



内容

新型のプリンターを導入した。

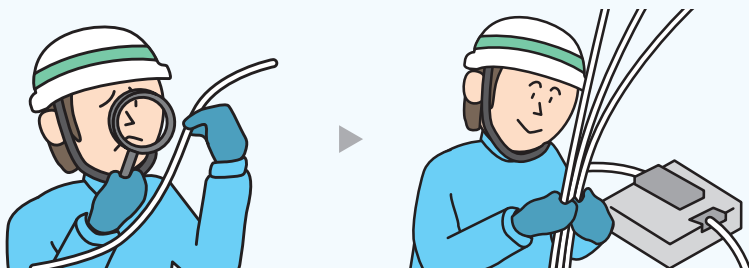


成果

マークチューブへの印字が以前よりも鮮明になり、速度も向上した。また、製作・印字の工程でチューブが絡まる等のトラブルが生じなくなったことで、作業時間の短縮や材料費の削減に至った。制御盤への取り付けやテスト等も、文字・番号の判別が容易になったことで作業のスピードや問題のある箇所が把握が迅速になり、作業時間を短縮できた。作業を担当している従業員の時間外労働および休日出勤の合計時間数が、1人あたり月10時間減った。2022年8月から2023年7月の1年間で、売上高および売上総利益が前年比108%へと増加した。

成果目標

- ・時間外・休日労働時間数を縮減し、月60時間以下に上限を設定



改善の  
OnePoint

従来のプリンターによって作業が非効率になり、労働時間が長引いていた社員からプリンターの更新や助成金の活用を希望する意見があり、採り入れた。取組によって生産性が向上したと感じており、同じ設備の台数をさらに増やせば作業時間をより短縮できる。社員から追加の設備投資を求める声が挙がっており、検討している。

事例

6

## ホットスタンプ機の導入による 時間外労働の短縮



企業概要 [所在地] 栃木県 [従業員] 37人 [事業内容] 印刷・関連産業

背景

### ホットスタンプ機不足による労働時間の増加



課題

いわゆる「箔押し」と呼ばれる、プラスチック成型部品への金属製箔の貼り付け作業において、製品を機械に都度セッティングする必要があり、受注が集中した際にはホットスタンプ機が2台だけでは作業効率が悪く、時間外労働が発生していた。



必要としていた対応

ホットスタンプ機を増設し、業務効率化と時間外労働の削減を図りたいと考えていた。

取組の内容と成果

### ホットスタンプ機増設により労働時間短縮



内容

ホットスタンプ機を新たに1台導入した。

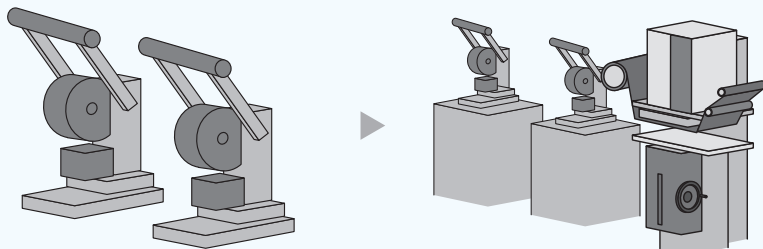


成果

さらに分散してセッティングし、貼り付け作業ができるようになり、1時間あたりに製造可能な個数が1.5倍になった。このため、貼り付け作業後の製造工程、出荷作業に従事している従業員の時間外労働が1日2～4時間から、1～2時間に短縮された。また、時間外労働が短縮されたことで、半年間で人件費が16万円削減された。

成果目標

- ・時間外・休日労働時間数を縮減し、月60時間以下に上限を設定
- ・時間当たりの賃金額を(5%)引上げ



改善の  
OnePoint

今回の助成で労働時間は短縮されたが、求人時の賃金額高騰により経験者採用が難しく人手不足の状況にある。人材確保に向けた資金調達のために、売上を伸ばしていきたい。そのために、近年の廃プラスチック製品離れを打開する製品づくりに取り組んでいる。